

トピックス

各種セミナーを開催しました

一般県民対象の農的楽しみセミナー（8回）、小学生を対象とした子どもアグリ科学教室（3回）を開催しました。

※今年度の農的楽しみセミナー、子どもアグリ科学教室の受講募集は終了しています。



農的楽しみセミナー
(7月2日 ブルーベリー栽培コース)

吉岡前生産環境部長に研究功労者表彰

吉岡邦雄前生産環境部長（現作物園芸部専門員）が、「原子力発電所の事故に伴う放射能関係試験研究と技術対策の構築」の業績により、6月27日に全国農業関係試験研究所長会より研究功労者として表彰されました。



受賞記念発表（東京都）

センターからのお知らせ

第9回 農業総合センターまつり

本部、果樹研究所、畜産研究所の3会場で開催するのは、震災後では初めてとなります。

研究成果の紹介やイベントを行いますので、お誘い合わせの上、ご来場ください。

テーマ「いいね!がいっぱい ふくしまの食と農」

畜産研究所会場（福島市荒井）

日時 8月31日(日) 9:30~15:00
場所 福島県農業総合センター 畜産研究所
(福島市荒井字地蔵原甲18)
連絡先 024-593-1221

- 最新の研究成果展
- 畜産相談コーナー
- ラップサイレーシ落書き
- バター作り体験 他

果樹研究所会場（福島市飯坂）

日時 9月5日(金) 9:30~16:00
9月6日(土) 9:30~15:00
場所 福島県農業総合センター 果樹研究所
(福島市飯坂町平野字槽の東1)
連絡先 024-542-4191

- 最新の研究成果展
- 果樹栽培相談
- 果物の試食コーナー
- 果物等即売会 他

本部会場（郡山市日和田町）

日時 9月12日(金) 9:30~16:00
9月13日(土) 9:30~15:00
場所 福島県農業総合センター
(郡山市日和田町高倉字下中道116)
連絡先 024-958-1700

- 最新の研究成果展
- 農業技術相談
- ほ場案内バスツアー
- 農産物販売 他

農業短期大学校 樹隆祭を開催

各学科の卒業研究や学生生活紹介などのパネル展示、模擬店や学生が丹精込めて育てた農産物の直売などを行う予定です。ぜひ、農業短期大学校へお越しください!

日時 10月19日(日)
10:00~14:00
場所 農業短期大学校
(西白河郡矢吹町一本木446番地1)
連絡先 0248-42-4111



毎年にぎわう農産物直売

農業総合センター農業短期大学校 平成27年度 学生募集



本県の次代を担う農業者・地域農業指導者を育成するため、農学部本科及び研究科の学生を募集します。

詳細につきましては、農業短期大学校ホームページをご覧ください。農学部教務管理（電話0248-42-4113）までお問い合わせください。

	募集人数	願書受付期間	試験日	
本科	60名(修学年限2年) 農産学科15名程度 園芸学科30名程度 畜産学科15名程度	推薦入試	10月7日(火)~10月17日(金) 11月7日(金)	
		一般入試	前期	11月11日(火)~11月21日(金) 12月5日(金)
			後期	1月6日(火)~1月26日(月) 2月17日(火)
研究科	若干名(修学年限1年)	一般入試	12月25日(木)~1月20日(火) 2月3日(火)	

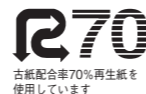
ラウンド農ふくしま 第25号

http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/index.htm
E-mail:nougyou.jouhou@pref.fukushima.lg.jp

編集・発行：福島県農業総合センター
〒963-0531
福島県郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地
TEL 024-958-1700 FAX 024-958-1726



「植物インキ」を使用して印刷しました



古紙配合率70%再生紙を使用しています

〈広告欄〉



「元気」発信! 「魅力」発信! JAの農産物直売所。
地域の特徴を活かし、地産地消を推進しています。

朝採り新鮮野菜が たくさん!!
生産者から直に購入できるので 安い!
生産者の顔が見えるので 安心!
放射性物質検査を行い 安全を確保!

みんなのよい食プロジェクト
JAグループ福島
http://www.ja-fc.or.jp
JAグループ福島

福島県農業総合センターニュース

第25号
2014.8

ラウンド農ふくしま

Fukushima Agricultural Technology Centre

季節の風景 センターの春から夏にかけての風景を紹介します。



モモの収穫
果樹研究所

震災後はじめての
デントコーン播種
(南相馬市)
生産環境部

予察灯による
害虫発生調査
安全農業推進部

トラクタけん引免許取得研修
農業短期大学校

冷水を循環させた水田での
冷害に強い水稲品種の選抜
浜地域研究所

contents

●季節の風景	1
●センター所長室から	2
●研究の紹介	
土壤中のカリ含量の簡易測定法を開発しました	2
ナシヒメシクイ成虫の発生時期を正確に予測する方法	2
営農再開に向けた実証試験（野菜生産について）	3
牛肉の放射性セシウム濃度を牛を生かしたまま予測する	3
大豆の放射性セシウム濃度を実がなる前に予測する	3
●お知らせ・トピックス	4



センター所長室から

地道な技術開発と正確な情報発信



所長 小巻克巳

福島県は原発事故後の風評被害の払拭に一丸となって対応しています。私たちは得られた科学的な情報を的確に提供しているところです。今後は、こうした取り組みに加えて、これからの福島農業を支える新しい技術開発が重要な課題になります。私たちは一つひとつの要請に対して適切に対応すべく、これまでに得られた成果をもとにして、地道に着実に試験研究を行い、必要とされる新しい技術を開発することは当然のことながら、成果が農業現場に速やかに伝わるよう、積極的な情報発信に努めなければいけないと肝に銘じているところです。

研究の紹介

研究成果をわかりやすく解説します

土壌中のカリ含量の簡易測定法を開発しました



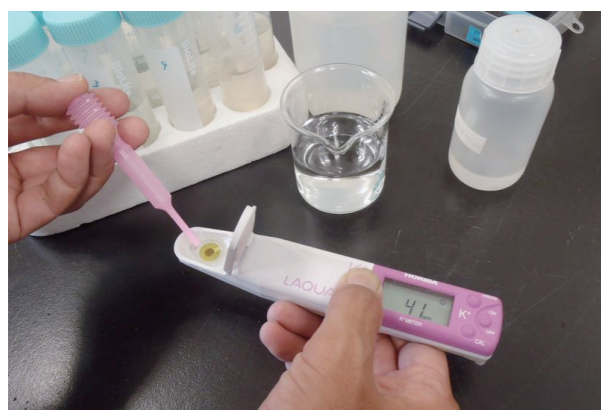
生産環境部
環境・作物栄養科
主任研究員

中山 秀貴

放射性セシウムの作物への吸収抑制対策としてカリ資材の農地への適正な施用が求められています。

土壌中のカリ含量を知るためには専用の分析機器による土壌分析を行います。今回、より簡易に土壌中のカリ含量を測定するため、小型イオンメーターを用いた測定法を開発しました。

入手しやすい器具・試薬を用い操作も簡単なので、生産者・生産団体にも取り組みやすい技術です。



小型イオンメーターによる土壌中のカリ含量測定

問合せは ☎024-958-1718 まで

ナシヒメシンクイ成虫の発生時期を正確に予測する方法



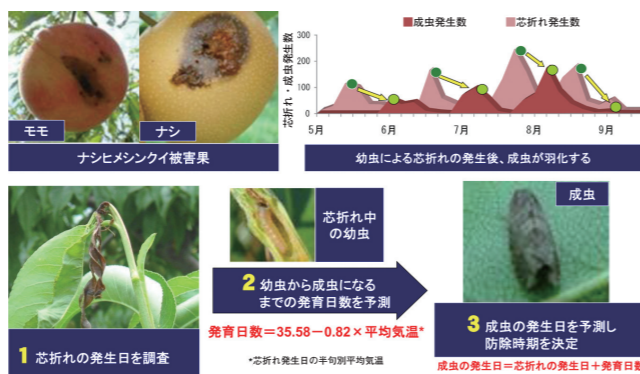
果樹研究所
病害虫科
科長

佐々木正剛

交信かく乱剤を設置した果樹園で果樹害虫ナシヒメシンクイの発生をフェロモントラップ調査しても、捕殺数が少なく成虫の発生時期は把握できません。

そこで、幼虫による新梢被害（芯折れ）の発生日から成虫の発生日を予測する方法を確立しました。

例えば芯折れ発生日が5月31日の場合、成虫発生日は6月18日と予測され防除適期を決定できます。予測の誤差は小さく精度が高いことが特徴です。



モモの芯折れ症状の発生日からナシヒメシンクイ成虫の発生日を予測する方法

問合せは ☎024-542-4199 まで

営農再開に向けた実証試験（野菜生産について）



生産環境部
福島市駐在
副主任研究員

根本 知明

平成25年度に3名体制で新設された福島市駐在では、主に避難指示を受けた地域の営農再開に向け、これまでに得られた試験研究成果の現地実証を行っています。

野菜に関しては幅広い品目について反転耕や表土剥ぎ、カリ施肥等の放射性セシウム吸収抑制実証を行った結果、すべての品目で放射性セシウム濃度が検出限界値未満となりました。

今後も営農再開のための現地実証を進めていきます。

問合せは ☎024-593-6174 まで



左上 ダイコンほ場耕耘(南相馬市小高区)
左下 ハクサイほ場(川俣町山木屋)
右 ミニトマトほ場(飯館村)

牛肉の放射性セシウム濃度を牛を生かしたまま予測する



畜産研究所
肉畜科
主任研究員

石川 雄治

和牛の出荷時期を迅速かつ正確に特定することを目的に、生きた牛の体表に検出器をあて、食肉の放射性セシウム濃度を予測するシステムを開発しました。

本システムは、科学技術振興機構の復興促進プログラムにより被災地企業と産学官連携で開発し、特許出願の成果となりました。

本年7月の成牛せりまでに540頭を測定し、実用性を確認しています。

問合せは ☎024-593-1223 まで



開発した生体牛用放射性セシウム測定システム
NaI 検出器を尻部にあてて推定します。周囲の空間線量の影響を排除する工夫がされています。

大豆の放射性セシウム濃度を実がなる前に予測する



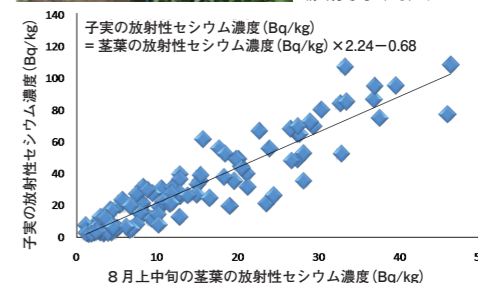
作物園芸部
畑作科
主任研究員

竹内 恵

開花～着莢期の大豆茎葉の放射性セシウム濃度が高いと、秋に収穫される子実の放射性セシウム濃度が高まる関係があることから、8月上中旬の大豆茎葉の放射性セシウム濃度から子実中の放射性セシウム濃度を推定する予測式を作成しました。

この予測式を用いることにより、子実の放射性セシウム濃度が基準値を超える可能性のある大豆ほ場を事前に把握することができます。

問合せは ☎024-958-1723 まで



研究の紹介に掲載した情報の詳細については、下記の URL をご覧ください。

福島県農業総合センターホームページ>研究情報>研究成果>平成25年度に得られた研究成果
http://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/nougyou-centre/kenkyuseika/kenkyu_seika_H25.html